



概要

士別市は、広い行政面積のなかで集落が分散し、農村部における路線バスの運行効率が低いこともあって、バス事業者の赤字や市の財政負担が増大しているが、住民からは、中央市街地と農村部を結ぶ「地域の足」としての路線維持や公共交通利用時における快適性・利便性の向上が強く求められていることから、利用者ニーズにあったバス路線・ダイヤへの見直し、快適なバス待合施設の整備、デマンドシステム・乗合タクシーの導入等により、効率的で利便性の高い持続可能な公共交通体系の構築を図る。

バス路線、ダイヤの見直し(21年度～)

利用者の利便性を高めるため、利用者のニーズを踏まえた新たなルート設定やルート変更、ダイヤ改正を行うこととし、総合福祉センターと主要施設等を結ぶ乗合タクシーの導入を図る。

快適なバス待合所の整備(21年度～)

住民から快適なバス待合所施設の設置が望まれていることから、雨や雪などの日も安全にバスを待つことができるバス待合所施設の整備を進めるとともに、待合所の除雪や清掃などの維持のあり方について、改善を図る。

デマンドシステム・乗合タクシーの導入(21年度～)

既存路線バスでは住民ニーズに対応できる区域が限定されており、利用者も減少傾向にあることから、効率性と利便性を高める公共交通として見直しを図り、地域の大切な移動手段の維持、確保を目的とした、デマンドシステム及び乗合タクシー導入の実証運行を行う。
温根別北線において、21年10月からデマンドシステムによる運行を行い、高齢者に配慮した予約方法や運行車両等について検証を行う。



士別市地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

主な事業内容

協議会開催状況

2回開催

分科会等開催状況

-

回数は、平成21年度末までの開催予定

温根別北線におけるデマンドシステムの運行
農村部の温根別北線でデマンド運行システムを実施し、持続可能な交通体系の構築を検証
その他路線におけるデマンドシステム等の運行
上士別、武徳地区において、乗合タクシー等の実証運行を実施
設備の充実
ノンステップ・ハイブリッドバスを導入
バス停改善
待合所整備

公共交通の利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供
PR活動と情報伝達母体としてのバス車両の活用
路線バスマップの作成
ホスピタリティとマナー向上の取り組みの推進
利用者のニーズにあった路線・ダイヤの見直し
利便性や安全性に配慮した乗降位置の見直し
高校生の通学手段としての路線バスの利便性向上
地域の推進体制づくり
市内観光施設等との連携

実施状況

温根別北線におけるデマンドシステムの運行
平成21年11月1日から平成22年3月31日まで運行
運行回数3回
その他路線におけるデマンドシステム等の運行
上士別、武徳地区の乗合タクシー等の実証運行は、地元との十分な協議を要することから22年度実施予定
設備の充実
ノンステップ・ハイブリッドバスは3月納車予定
バス停整備については、30基を実施予定
待合所整備については、5カ所整備済み、3月中に残り3カ所を整備予定

公共交通の利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供
バス車両の活用については、車内の掲示板整備は15両に整備済み、小・中学生バス無料乗車は2回実施
路線バスマップの作成は、3月に実施予定
ホスピタリティとマナー向上の取り組みの推進は22年度実施予定
利用者のニーズにあった路線・ダイヤの見直しについては、事業者と協議中
利便性や安全性に配慮した乗降位置の見直しについては、1カ所実施
通学手段の利便性向上については、片道定期券は12月から実施、学生割引等は22年度実施予定
地域の推進体制づくりは、自治会による待合所管理体制、高校生によるボランティア活動体制を整備
市内観光施設との連携は、22年度実施予定

自己評価のポイント

デマンド実証運行やバス待合所整備事業等について、運行の効率化や利便性向上に寄与したものと評価する。
計画事業のほとんどが21年度に集中し、その結果、未実施事業が多くなってしまったことから、各年度に振り分けし、重点的に事業実施するよう見直し必要性がある。

二次評価のポイント

実施した事業に効果が見られることについて評価するとともに、未実施事業が散見されることから、次年度以降の事業計画全体の見直しをするようアドバイスする。